

県内経済動向調査結果(平成21年6月分)

平成21年8月10日

産業経済政策課

概 況

県内経済は、総じて厳しい状況が続いているものの、製造業の一部で下げ止まりの動きが見られる。

主な業種	状 況
製 造 業	<p>総じて減産が続いているものの、一部で下げ止まりの動きも見られる。</p> <p>生産額、受注額はそれぞれ前年同月比23.9%減、同25.6%減となった。3か月先の業況見通しDIIは9.5から15.7となった。</p>
建 設 業	<p>厳しい状況が続いている</p> <p>受注額、完工高はそれぞれ前年同月比22.8%減、同25.1%減となった。3か月先の業況見通しDIIは▲6.7から▲6.3となった。</p>
小 売 業	<p>引き続き弱い動きとなっている</p> <p>売上高は前年同月比で0.3%減、3か月先の業況見通しDIIは▲25.0から▲39.3となった。</p>
サービス業	<p>運輸業で持ち直しの動きが見られるものの、総じて低調となっている</p> <p>売上高は前年同月比10.2%減、3か月先の業況見通しDIIは3.8から▲7.4となった。</p>

製造業の動向

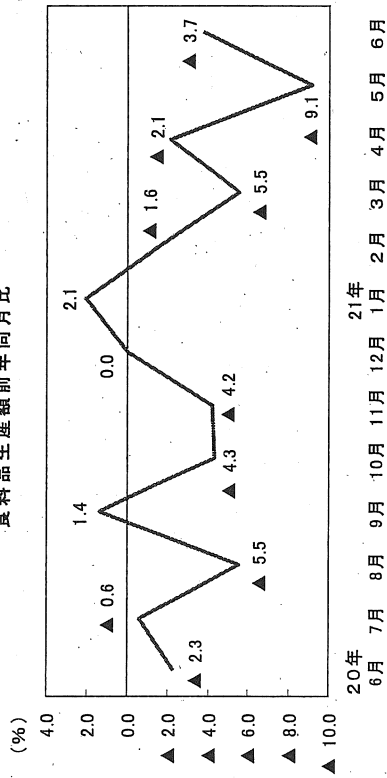
1 食料品

弱い動きが続く

生産額は前年同月比3.7%減。3か月先の業況見通しDIは▲35.7から▲7.1となった。

酒類では、前年並みの生産額を確保した企業もあるものの、業務用の伸び悩みなどにより回復基調には至っていない。加工食品においても前年同月比減の弱い動きとなっている。

食料品生産額前年同月比



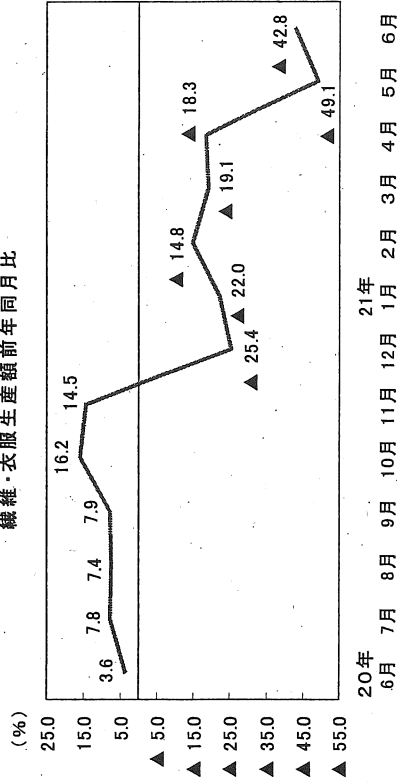
2 繊維・衣服

低調な生産活動が続く

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比42.8%減、同40.7%減。3か月先の業況見通しDIは▲66.7から0.0となった。

景気悪化による消費の冷え込みで、低調な生産活動が続いている。百貨店での高価格商品の売上の低迷、小ロット・多品種での受注などにより利益が上がらない状況となっている企業も見受けられる。雇用調整のための休業も行われており、厳しい状況が続いている。

繊維・衣服生産額前年同月比



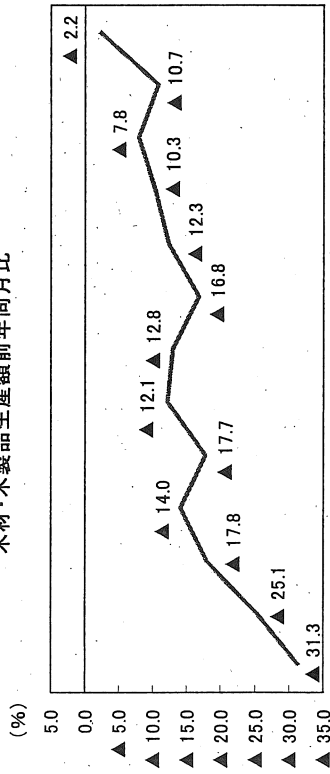
3 木材・木製品

22カ月連続マイナス、厳しい状況が続く

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比2.2%減、同13.9%減。3か月先の業況見通しDIは8.3と変わらない。

合板において一部前年同月比プラスとなっている企業があるものの、販売価格が原価割れとなっている状況が見受けられる。全国的に住宅市況が低迷していることから、総じて低調な生産活動が続いている。生産調整のため一部工場の操業停止や休業による雇用調整を行っている企業もあり、依然として厳しい状況が続いている。

木材・木製品生産額前年同月比



20年 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月
21年

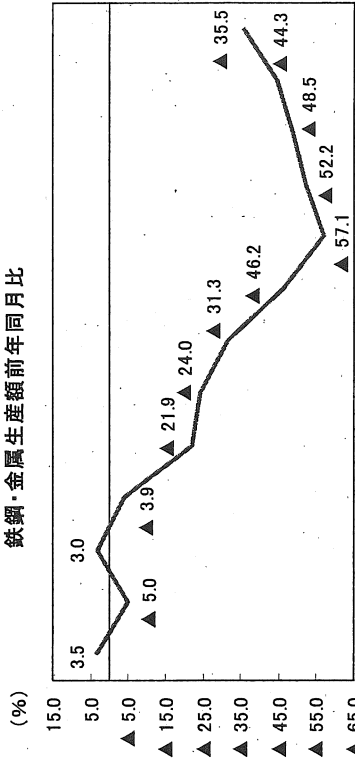
4 鉄鋼・金属製品

減産が続く

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比35.5%減、同41.8%減。3か月先の業況見通しDIは27.3から36.4となった。

電気機械関係では、ここ数カ月前月比で増加するなど底を脱しつつある企業も見られるものの、依然として前年同月比3割以上の減産となっている企業が多く、減産が続いている。

鉄鋼・金属生産額前年同月比



20年 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月
21年

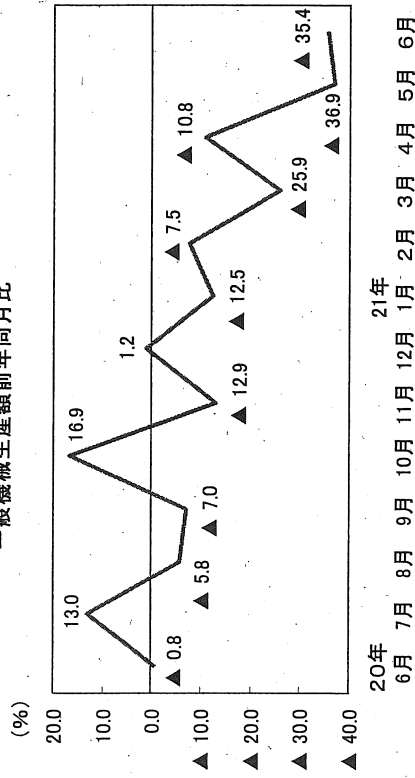
5 一般機械

悪化している

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比35.4%減、同27.8%減。3か月先の業況見通しDIIは0.0と変わらない。

一般産業機械では、中国向け生産の拡大により増産となっている企業も見受けられるものの、自動車業界の冷え込みなどの影響を受け、前年同月比で5割以上の減産となっている企業も多く、悪化している。

一般機械生産額前年同月比



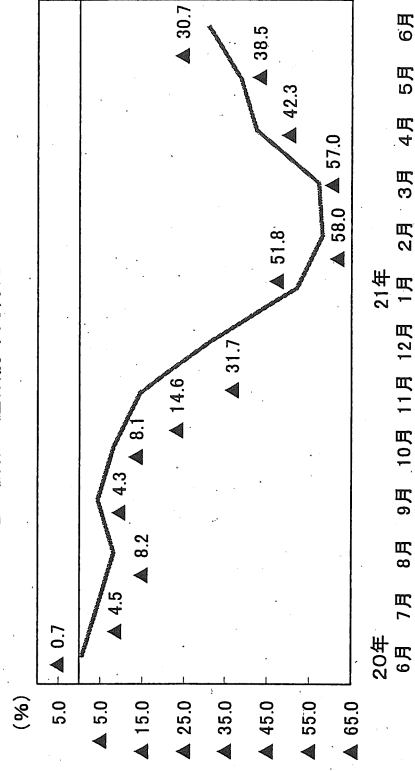
6 電気機械

一部下げ止まりの動きが見られるが、減産が続く

生産額、受注額は、それぞれ前年同月比30.7%減、同30.7%減。3か月先の業況見通しDIIは26.3から31.6となった。

コンデンサーでは、前年同月比マイナスではあるものの、生産が持ち直しつつある。光ファイバー関連や携帯電話関連では、生産額が前年同月比7割以上の減となっている企業も見受けられる。品目により回復基調に差異があり、総じて見れば減産が続いている。

電気機械生産額前年同月比

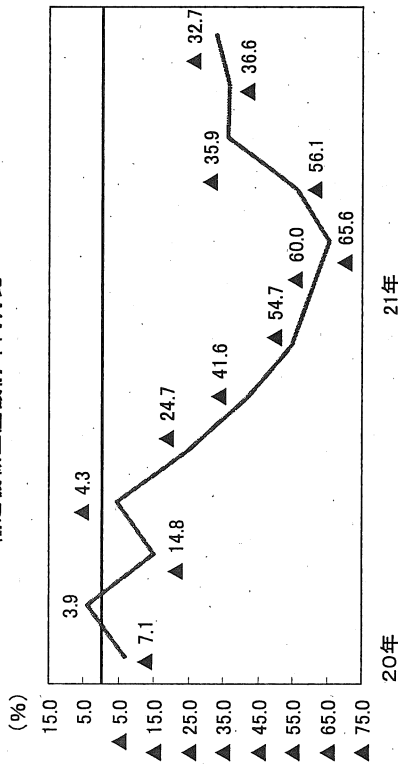


7 輸送機械

減産が続ぎ、低迷している

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比32.7%減、同33.7%減。3か月先の業況見通しDIは71.4から50.0となった。
増産に対応するために派遣社員を雇った企業も一部見受けられるものの、前年同月比ではマイナスが続ぎ、総じて見れば低迷している。多くの企業で操業停止日や休業日を設け減産に対応している。

輸送機械生産額前年同月比



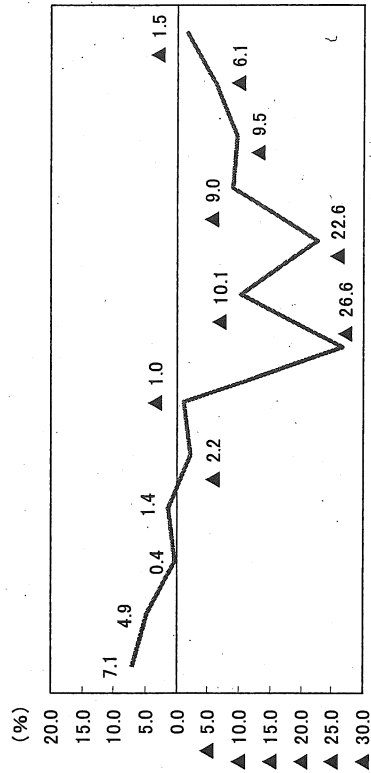
20年 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 21年

8 精密機械

低迷している

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比1.5%減、同0.4%増。3か月先の業況見通しDIは37.5から0.0となった。
医療機器関連では前年比増の底堅い動きとなっており、全体のマイナス幅を縮小する要因となっている。光ファイバー関連では中国向け製品が好調で増産となっている。他の品目では、前年同月比でマイナスとなっている企業が多い。

精密機械生産額前年同月比



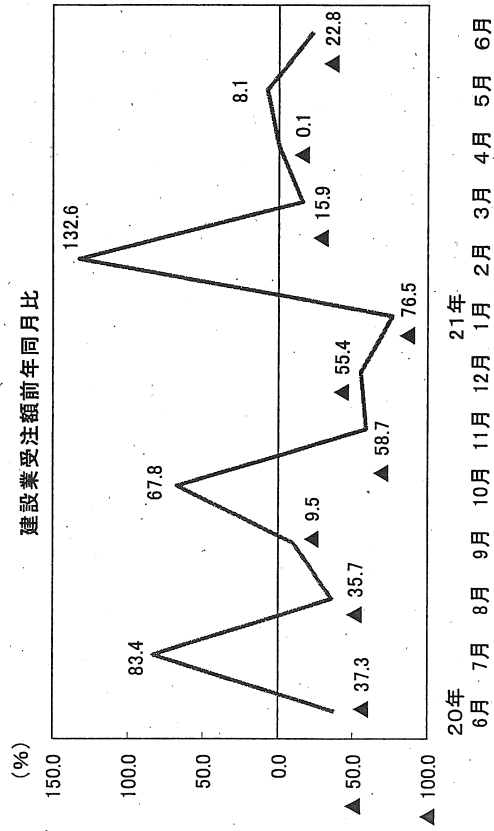
20年 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 21年

建設業の動向

建設業

厳しい状況が続く

受注額、完工高はそれぞれ前年同月比22.8%減、同25.1%減。3か月先の業況見通しDIは▲6.7から▲6.3となった。
 経済対策としての公共工事の前倒し発注による一定の効果はあるものの、受注競争が激化し、収益状況が厳しいものとなっている企業も多い。



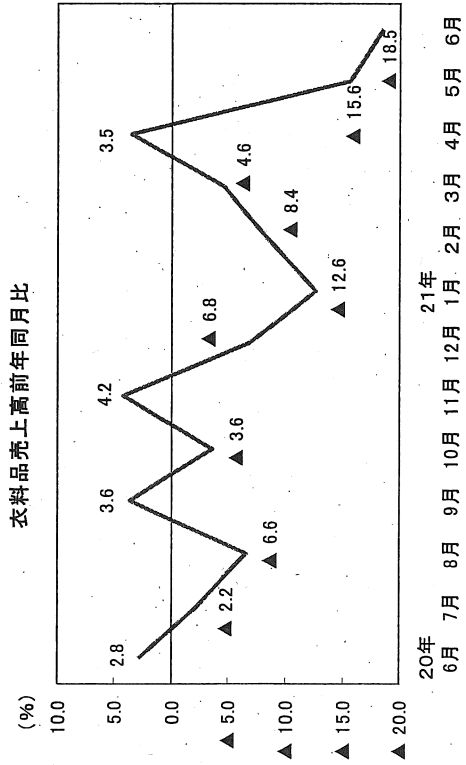
小売業の動向

1 衣料品

低調な売上となっている

売上高は前年同月比18.5%減。3か月先の業況見通しDIは▲50.0から▲60.0となった。

セールの実施により売上を伸ばした企業もあるものの、買い控えや客単価の減少により低調な売上となっている。

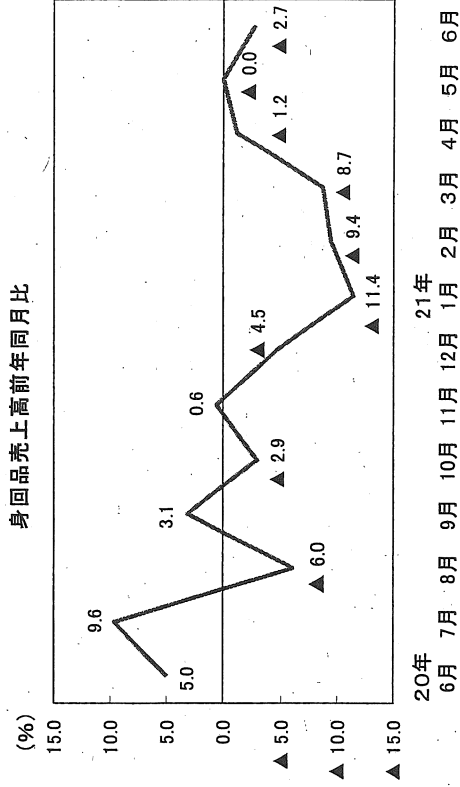


2 身回品

売上の落ち込みが続く

売上高は前年同月比2.7%減。3か月先の業況見通しDIは▲33.3と変わらな

い。
ホームセンターにおいて、園芸用品、建築資材等で売上を伸ばした企業もあるものの、消費者の買い控え傾向から売上が伸び悩んでいる企業が多く、総じて見ると売上の落ち込みが続いている。

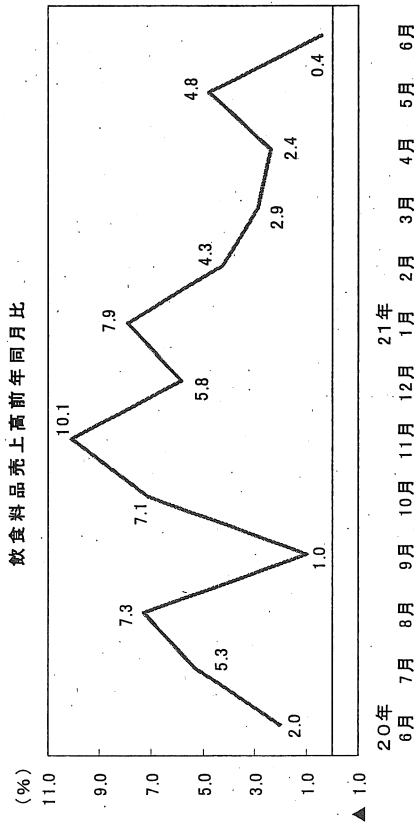


3 飲食料品

底堅い売上が続く

売上高は前年同月比0.4%増。3か月先の業況見通しDIは▲18.2から▲50.0となった。

酒類では、客数が減少することなどにより、売上が低調なものとなっているものの、スーパーでは売上が伸ばしている企業もあり、飲食料品全体みると底堅い売上が続いている。

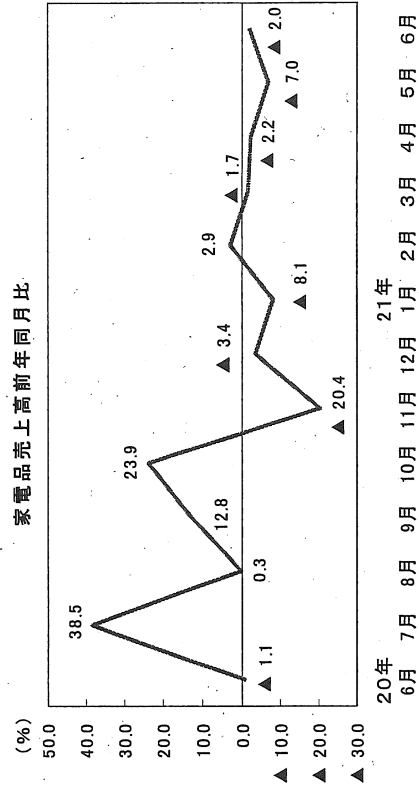


4 家電品

やや弱い動きとなっている

売上高は前年同月比2.0%減。3か月先の業況見通しDIは0.0と変わらな

い。薄型テレビ、冷蔵庫、DVDレコーダーの売上は堅調に推移しているものの、エアコンは伸び悩んでおり、総じて見るとやや弱い動きとなっている。



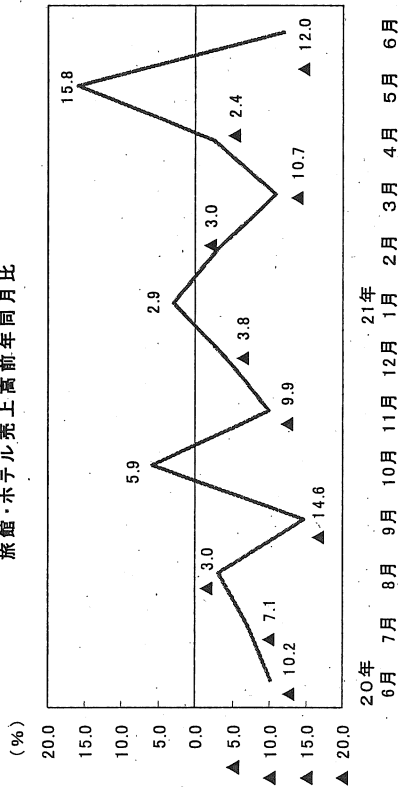
サービス業の動向

1 旅館・ホテル

弱い動きとなっている

売上高は前年同月比12.0%減。3か月先の業況見通しDIは6.7から▲6.7と
なつた。

観光客の減少などにより宿泊部門で売上が落ち込んだ企業が多く見受け
られた。6月は時期的に婚礼が多い月であるものの、全体を引き上げるまで
の売上の伸びがなく、総じて見ると弱い動きとなっている。



2 その他サービス

運輸業で持ち直しの動きが見られる

売上高は前年同月比8.9%減。3か月先の業況見通しDIは0.0から▲8.3と
なつた。

道の駅では、客数が増加し前年同月比プラスとなっているものの、客単価
はそれほど伸びていない。

運輸業では、農産物の取扱量の増加による持ち直しの動きが見られる。

